

株式会社アール・エフ

---

沖縄R&Dセンター紹介

# お客様

要件検討

株式会社アール・エフ  
東京本社(窓口)

マネージメント力

仕様設計

製造・テスト

結合・総合テスト

保守運用

株式会社アール・エフ  
沖縄R&Dセンター(ニアショア)

品質・コスト  
確保

沖縄県内の  
技術パートナー会社

フリーエンジニア集団

一  
気  
通  
貫

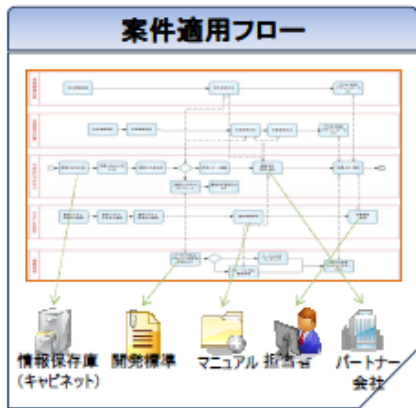
【ポイント】

沖縄県内のIT人材と技術を集結させていることによる豊富な人材

確立されたビジネスモデル、豊富なマネジメント・汎用系開発スキル・オープン系開発等

# 沖縄R&Dセンターにおける開発標準化

## ● 案件適用フロー選択



- 案件規模による、PJ適用フローを標準化(案件規模よっての適用プロセス)
- PJリスクを軽減するために、自社内に品質管理担当、リスク管理担当を配置(社内-責任権限者レベル)
- 要件理解におけるスキルトランスファー(eラーニング方式)
- 各プロセス引き渡し時のチェックシート(社内標準書)
- 設計プロセス標準化(設計におけるガイドライン、ドキュメント標準整備)
- 開発プロセス標準化(開発におけるガイドライン、開発標準書整備、各種ツール、ノウハウの体系化)
- テスト工程における品質確保対策(ホワイトボックステスト/ブラックボックステストの標準化)  
(負荷テスト、セキュリティテスト標準実施=社内標準におけるテスト)

## ● アプリケーション設計・構築

- 上流工程～下流工程を首尾一貫したシステム開発(ワンストップソリューション)
- アーキテクチャ支援(開発手法・開発プロセスの標準化、標準ツールの評価・選定、その他の標準化支援)
- オープンソリューション  
(業務アプリのオープンソース化、Struts、Tomcat、PostgreSQL、Lucene、Seasar2などのオープンソース製品をフル活用したシステム構築とそのノウハウ提供)

# 沖縄R&Dセンター開発実績(環境)



ネットワーク

## アプリケーション (I/F) 外部連携

認証基盤

実績

【サーバ】

Windows系 (Windows Server)、Unix系 (Solaris、AIX、Mac OS X)

Linux系 (Red Linux、CentOS)

【データベース】

Oracle、SQLServer、MySQL、PostgreSQL、DB2、Sybase

【言語】

Java (struts、Seasar、Seasar2、Hidemate、JetSpeed、POI)、

ドット.Net系 (VB、ASP、C#)、PHP (cakePHP、Laravel)、Ruby (on Rails)

【その他 (パッケージ等)】

ENOVIA製品 (生産管理系)、PRONES富士通製品 (在庫管理、販売管理、購買管理、作業実績管理、生産計画管理)

## データセンター連携

(沖縄県内にある大規模データセンターとの連携)

# 沖縄R&Dセンター開発実績(①)

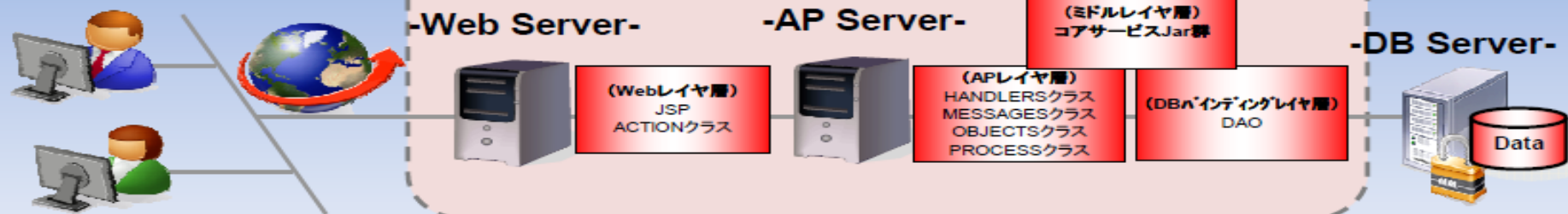
## 【JAVA編】FX(外国為替証拠金取引)業向けシステム

- マーケットニーズの変化に対応出来なくなった既存システムを維新するために新システムを構築  
旧来のシステムではマーケットニーズ、複雑化した業務に耐えられなくなっていることが顕在化しており、ユーザーニーズに応えるためのサービス向上、業務の効率・改善も含めた新システムの立ち上げを行う。

### 【システムの大きな特徴】

- Javaベースのシステムで飛躍的なパフォーマンス向上を実現  
各種業務ロジックを提供するフレームワークとしての機能に加え、コアエンジンに搭載した「分散キャッシング」テクノロジーにより、データベースアクセスを最適化し、大幅に加速化させるアクセラレータとしても機能し、Javaベースのシステムがミッション・クリティカルな業務でも十分に高いパフォーマンスを発揮することを実現。

### 【システム構成】



### 【プロジェクト・弊社の位置づけ】

受注領域 : バックオフィス機能全般 (2社にて協業体制)

工程 : 要件定義～システム保守

期間 : 1年 (保守期間: 1年)

APサーバ : Tomcat (Apache Tomcat)

DB : Oracle 10g

開発言語 : Java (フレームワークとしてStrutsを拡張したものを使用)

その他 : 他システム関連にてDLL(Java-C#)などを開発

弊社感想 : 大量データのパフォーマンスに関してはかなり苦労した、予想以上の取引量にて想定していたデータ量をオーバーし稼働後に、データベース周りのチューニングを試行錯誤して行った結果、チューニングに関する知識が向上した。

# 沖縄R&Dセンター開発実績(②)

## 【JAVA編】 部品情報共有システム

■各部署にて分散して持っている部品情報システムを中継しデータ共有化を図るためのシステムを構築

各部署にて部品情報を個別に管理しておりデータの共有ができていないため

情報の煩雑さや、業務効率の悪化につながっているため、データの共有化や業務効率を改善するために新システム構築を行うこととなった。

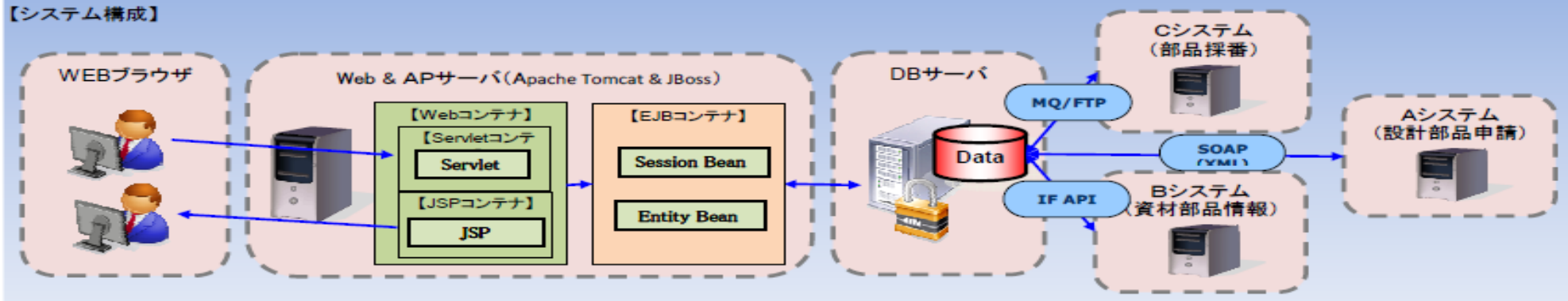
### 【システムの大きな特徴】

■本システムは、他システムとの連携を図ることにより、データの共有化、業務の効率化を実現

設計部門が使用する部品申請情報(Aシステム)を、資材部門にて持っている部品情報(Bシステム)へ繋ぎデータ連携を行う。

また、部品採番システム(Cシステム)とも部品情報を共有化することでシステム間連携を可能にした。

### 【システム構成】



### 【プロジェクト・弊社の位置づけ】

受注領域 : 部品情報共有システム(弊社単独)

工程 : 基本設計～導入保守

期間 : 4ヶ月(ユーザ先開発)

APサーバ : Apache Tomcat & JBoss

DB : Oracle 9i

開発言語 : Java

その他 : システム間携では、各システムのポリシーにあったIFを実現

弊社感想 : 他システムとの連携でプレル部分や納期的に厳しい部分があり仕様確定後に次工程への進むやり方よりは、上流より即開発→テスト→検証→仕様変更